

名古屋文理
創立 60 周年記念ロゴマーク
デザインマニュアル

2015 年 11 月 30 日作成



デザインマニュアルについて

名古屋文理創立60周年記念ロゴマークは、本学創立60周年の周知・浸透を図るためのもので、本デザインマニュアルは、これらロゴマーク等の基本デザインと使用方法を定めたものです。

本デザインマニュアルに記載されているルールを遵守し、ロゴマーク等を一貫性をもって使用することで、学園内外において、創立60周年の認知をより効率的に広めることを目的としています。

<内容>

1. デザインマニュアルについて
2. 基本デザイン
3. 表示色について
4. クリアスペースと背景画像の関係
5. 使用禁止例

基本デザイン

ロゴは「60th」のロゴタイプと「Anniversary NAGOYA BUNRI」の文字で成り立っています。
使用する媒体によってロゴタイプのみを使用も可能です。



ロゴタイプのみ



※最小使用サイズ 基本デザインを25mm以下で使用しなければならない場合はロゴタイプのみを使用すること。

基本デザイン



ロゴタイプのみ



ロゴマークには、以下の表示色があります。フルカラー表現を最優先とし、刷色に制限のある場合に限り単色で表現します。

1.フルカラー表現



	プロセスカラー	RGB
	M100+Y20	R229 G0 B110
	M80+Y15	R233 G83 B137
	M50+Y30	R242 G156 B151
	M65+Y45	R237 G121 B113
	M70+Y90	R237 G109 B31
	M55+Y70	R241 G143 B77

2.モノクロ表現



	プロセスカラー
	K100
	K75
	K50
	K60
	K85
	K65

3.単色表現 シルクスクリーンなど、単色でも濃淡の表現ができない場合にはこちらのロゴを使用します。

カラー



モノクロ



白抜き



1. クリアスペースについて

ロゴマークを正しく認識するために、下図に定める一定の範囲（クリアスペース）に他の要素を入れないようにしてください。また、クリアスペースの範囲外であっても、ロゴマークの近辺には、個性の強い図形や文字を配置することはできるだけ避けてください。



2. クリアスペースと背景画像の関係について

煩雑な写真やイラスト、またはコントラストの得られない背景に表示する場合は、以下の例を参考に、クリアスペースを範囲とした余白を設けてください。



創立60周年の周知・浸透を図るためには、ロゴマークを正しく表示することが重要です。以下のような誤った表現でイメージを損なうことがないように注意してください。



変形させないこと。



バランスを変えないこと。



回転させないこと。



影をつけないこと。



改造したり要素を加えたりしないこと。



色を変えないこと。



煩雑な背景の上に表示しないこと。



周囲の余白の角を丸くしないこと。



フチをつけないこと。



ロゴを切ったり、折り目に配置しないこと。